

木更津市が
どのようなまちであって
ほしいですか？

LOOK TO THE FUTURE きさらづ 未来会議

「きさらづ未来会議」では、
20年後の市制100周年に向けて、
様々な視点で考えた7つのビジョンを設定。
大好きな木更津の
「今」と「未来」について、
お話を伺いました。



VISION
2

木更津は
山と海両方あるのが
強みですね



大学生
木村陽子さん(10代)

自然とともにあるまち

写真を撮るのが好きで、コンテストで入賞したことがあります。木更津市を宣伝する写真を
大学から撮ってこいと言われているので、**たくさん自然がある木更津の魅力**を伝える写真集を作
ってみたいと思っています。夕方から夜の人の
心を惹く、特に空気が澄んでいてきれいな冬が
私の大好きなシチュエーションです。でも、
自然とともにあるまちでありながら海沿いも開
発。開発は自然破壊とイコールなのに、どうい
うことなんだろう？ 適度に開発していくこ
と？ まだ心の中に疑問が残っています。

VISION
1

人のつながりがあるまち

大学進学で初めて来た木更津市は住みやすいま
ちだと思っています。アクアラインのおかげで
東京にも神奈川にもアクセスがいいし、商業施
設も多くて楽しめます。アウトドアが好きなの
で、海があってキャンプ場などのアクティビ
ティ施設が豊富なのも嬉しいです。でも、私は青
森県の出身だから近所付き合いの弱体化が気
になっています。イベントを積極的に開催した
り、この未来会議のように**様々な世代がお互いの
視点から意見を出し合える場**があると、もっ
と人とつながることができるかなと思っています。



大学卒業後も
木更津市に
住めたらいいですね。

大学生
小島遼平さん
(20代)

人を呼ぶ 魅力のあるまち

木更津には高校生の頃からよく訪れています。
人を呼ぶためには何か名物をつくらばいいと思
っていましたが、今回会議に出席し地元の方の
話を聞いて「木更津には海苔などの名産品や、
海や山にも観光地がたくさんある」と知しまし
た。それなら新たに作るより、今あるものや
場所をアピールしていけばもっと多くの人を誘
致できるのではないのでしょうか。僕たちのよう
な若い世代に向けては、**SNSのインフレン
サーとコラボして木更津市の魅力**を紹介しても
らうのもいいかなと思いました。

大学生
山田勇輝さん(20代)



今ある魅力を
アピール！

VISION
3

VISION
4

「未来会議」で
エネルギーを
もらえました！



理学療法士
三好圭晃さん
(40代)

誰もが安心して 暮らせるまち

理学療法士として、木更津市では、約10年医療
や介護に携わらせて頂いております。そんな中、
市民と医療・介護従事者のつながりが気になっ
ています。いろいろな優秀な方々がいて様々な
団体があるので、**それぞれの専門色を生かして
うまくつながることができれば、何かあった時
にどこに相談すればよいのか**わかりやすいので
はないでしょうか。**行政や自治会ともうまく連
携**がとれれば、さらに安心ですね。また、木
更津市は新しい小学校ができるなど若い世代も
増えていますから、多世代の交流も重要になっ
てくるでしょうね。

VISION
6

わくわくして 暮らせるまち

今回の未来会議に参加して、市の職員の方々
が市民の「知りたい」に応えてくれる**「きさ
らづ出前講座」**という取り組みがあることを
初めて知りました。こういう活動があること
をもっといろいろな人達に知ってもらって、
市への理解を深めて学ぶ機会が増えるとい
いですよね。また、木更津市を**映画やドラマの
ロケ地**に使って**聖地巡礼スポット**として発信
するのはどうかと思っています。経済効果
もあるそうなので。昔人気だったというドラ
マ「木更津キャッツアイ」を再放送してもら
うのもいいかもしれませんね(笑)。

全世代に
アンケートをとって
議論を深めるのも

大学生
松田美樹さん(20代)



VISION
5

子ども・若者が 育つ環境のあるまち

生まれてからずっと木更津暮らしです。小学校
3年生の時に蚕の養殖を、4年生ではホテルを
幼虫から育てるなど、**総合学習が充実**している
木更津市は、子どもが育つ環境としてとてもい
いと思っています。今後の希望としては、市独
自の**奨学金や市への就職の制度**を是非取り入れ
てもらえればと思っています。また、キャリア
教育として、**中・高生のインターン制度**も積極
的に取り入れてほしいです。これを導入すれば、
小中学生の頃から専門的なことを学ぶことがで
きて進路の幅も広がると思います。



桜の季節の
小櫃川沿いは
サイコーです！

高校生
相川洸介さん
(10代)

生活が便利なまち

木更津市出身で、大学入学と同時に東京で暮
らしはじめ、2017年に市に戻って地元の会
社に勤務。現在、家族で暮らしていますが、
私が子どもの頃と比べると、とても便利なま
ちになっていて驚きました。羽田空港やお台
場等にはほんの数十分で行けますし、商業施
設もたくさんあるので生活に不便を感じませ
ん。**自治会の活動も活発**です。ただそれは、
私がたまたまラッキーな所に住んでいるから
かも。住宅街から離れた内陸部や山間部など、
市内には生活が不便で人口が減っている地域
もあると聞きます。その**格差を解消**していく
ことがこれからの課題だと思いますね。

会社役員
池田恒さん(40代)



地域格差解消が
今後の課題

VISION
7